

# 卒業要件

卒業して学位を得るためには、修業年限及び卒業必要単位数の要件を満たしていなければならない。

## ①修業年限

修業年限は4年と定められている。従って、短期間に卒業に必要な単位を修得することができても4年間在学しなければ卒業はできない。

また、休学期間は在学期間に算入されないため、休学した場合、実際上卒業時期が遅れることになる。

なお、やむを得ない事情により4年間で卒業できない者に対しては、在学期間を8年間まで延ばすことができる。

## ②卒業必要最低単位数

卒業に必要な最低単位数は、東京家政学院大学教育課程及び履修方法に関する規程第5条により次のように定められている。

## 別表Ⅱ

現代生活学部・人間栄養学部 卒業必要単位数

(数字は単位数を表す)

学部・学科		現代生活学部				人間栄養学部
		現代家政学科	生活デザイン学科	食物学科	児童学科	人間栄養学科
専門科目	必修	10	10	62	18	98
	選択	54	54	33	56	12
小計		64	64	95	74	110
共通教育 科目	必修	1(7)	1(7)	1(7)	1(7)	1(7)
	選択	29(23)	29(23)	19(13)	19(13)	19(13)
小計		30	30	20	20	20
上記2科目区分の中から自由に選択する単位数【注】		30	30	9	30	0
卒業必要最低単位数合計		124	124	124	124	130

( ) 学則第58条に定める外国人留学生(編入学、学士入学を除く)の単位数

【注】他学部他学科の専門科目で修得した単位数を含む。

## 別表Ⅱの1

現代生活学部・人間栄養学部 共通教育科目の履修条件

(数字は単位数を表す)

学部・学科		現代生活学部				人間栄養学部
		現代家政学科	生活デザイン学科	食物学科	児童学科	人間栄養学科
アカデミックスキル領域		1(リテラシー演習)	1(リテラシー演習)	1(リテラシー演習)	1(リテラシー演習)	1(リテラシー演習)
教養科目群 (領域)	文化と表現	2	2	2	2	2
	数理と情報	2	2	2	2	2
	からだと健康	2	2	2	2	2
	自然と環境	2	2	2	2	2
	社会と生活	2	2	2	2	2
	生き方の問題	2	2	2	2	2
	外国語	4	4	4	4	4
	総合演習	(注3)	(注3)	(注3)	(注3)	(注3)
	日本語・日本事情	(注4)	(注4)	(注4)	(注4)	(注4)
キャリアデザイン領域		(注5)	(注5)	(注5)	(注5)	(注5)
共通教育科目の全領域の中から自由に選択する単位数		13	13	3	3	3